

松下記念資料館北側立面図

The secret of the Matsushita Memorial Museum from the perspective of archaeologists and historians
Shizutaro Urabe, Uzo Nishiyama, Matsushita Konosuke

松下記念資料館展

デザインとモチーフ、その誕生の秘密に迫る

Commemorative Exhibition for the 50th Anniversary of the Wakayama Prefectural Museum Kiifudoki-no-oka
Matsushita Memorial Museum Exhibition Approaching the design and motif the secret of birth

2021年 8月 29日 | 日 | >>> 9月 19日 | 日 |



松下記念資料館 / 1971 浦辺建築事務所

主催:和歌山県立紀伊風土記の丘 Wakayama Prefectural Museum Kiifudoki-no-oka

協力:株式会社浦辺設計 パナソニック株式会社 NPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫 和歌山大学システム工学部平田隆行研究室

〒640-8301 和歌山市岩橋1411 電話 073-471-6123 FAX 073-471-6120

ホームページ <http://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp> Eメール: kofun@kiifudoki.wakayama-c.ed.jp

■入館料 一般190(150)円・大学生90(70)円

()内は20名以上の団体料金 ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料(要証明書)

開館時間:9:00~16:30(入館は16:00まで) 休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日または休日の場合は次の平日)

松下記念資料館展

デザインとモチーフ、その誕生の秘密に迫る

1 会期

令和3年8月29日（日）～ 令和3年9月19日（日）

2 会場

和歌山県立紀伊風土記の丘松下記念資料館
ロビー、展示室図書コーナー

3 趣旨

県立紀伊風土記の丘は、特別史跡岩橋千塚古墳群とその周辺環境を保全・管理するため昭和46年（1971）8月2日に開園し、令和3年（2021）8月には開園50周年を迎えました。県立紀伊風土記の丘とともに築50年が経過した松下記念資料館は、そのメインエントランスとして、また中心施設として、これまで多くの来館者を迎え、考古資料や民俗資料を展示してきました。

松下記念資料館は、地元和歌山の名士である松下幸之助（1894-1989）の寄付によるもので、その設計は世界的に有名な建築家浦辺鎮太郎（1909-1991）によるものです。松下記念資料館の設計には、大阪万博を手掛けた西山卯三（1911-1994）の基本構想を引き継ぎ、岩橋千塚古墳群や考古学に関わる多くのモチーフやデザインが取り入れられています。

そこで、紀伊風土記の丘開園50周年を記念し、建造物としての松下記念資料館の設計理念や建造物としての魅力について注目するとともに、そのデザインとモチーフについて考古学者の視点から、誕生の秘密について歴史学者の視点から紐解きたいと思えます。

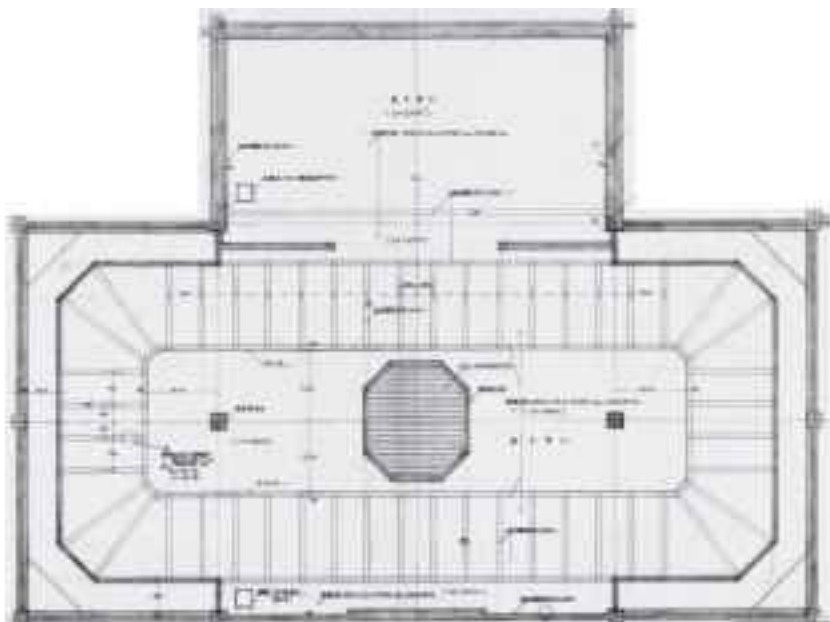
4 展示構成

第I部 松下記念資料館—デザインとモチーフ—

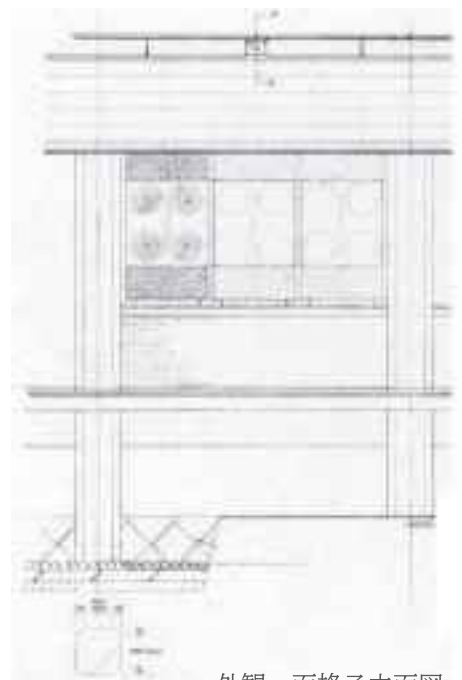
- ・ 設計理念と幻の基本設計
- ・ 松下記念資料館の考古学的モチーフ

第II部 松下記念資料館—誕生の秘密—

- ・ 紀伊風土記の丘と大阪万博
- ・ 基本構想と松下記念資料館—西山卯三から浦辺鎮太郎へ—
- ・ 松下記念資料館誕生秘話—一通の書簡—
- ・ ピロティに移設された古墳
- ・ 初公開!もう一つの浦辺鎮太郎作品



常設展示室天井伏図



外観・面格子立面図